大学学部研究会を終えて 3

参加できなかった仲間にも伝えていきたい。

５人は研究会参加後に、「３日間で学んだこと」「今後の決意表明」と題して、感じたことを作文としてまとめています。ここでは、その一部をご紹介いたします！

3年　永野　明香

今回の研究会で最初に学んだことは、「協調性とマナー」です。私は他校の生徒と同じ部屋だったのですが、出会ってから数時間しか経っていないせいか、同じ部屋で過ごすことに不安を感じていました。しかしお互いのペースで時間を過ごし、自己主張し過ぎること無く、譲り合うことで、会話が生まれ、就寝前には、地元や学校のことを話し合い、「お互い勉強をもっと頑張ろう」と決意を固め合いました。また学ぶ意欲の大切さを改めて学びました。学校に導入された垂高版東進ハイスクールをきっかけに、多くのことを知りたい、学びたいと思うようになり、今回もこのような貴重な機会をいただくことができました。学びを通じて、色々なところへ繋がっていくことを今回実感しました。今回、学び感じたことは、この先を生きていく上でとても重要なことだと思います。このことを忘れず、まずは志望校合格に向けて進んでいきたいです。

2年　海元　直也

講義の最初に映し出される永瀬社長（東進ハイスクールを運営する株式会社ナガセ代表取締役社長）の「試験はあらかじめ答えの分かっていること。でも大学の勉強、研究は答えがあるかさえも分からない。」という言葉が心に残りました。また、古生物学の平山廉先生（早稲田大学国際教養学部教授）の「自分が好きなことをやりなさい。本当に好きなことをやるために頑張りなさい。」という言葉と、地球科学の加藤泰浩先生（東京大学大学院工学系研究科教授）の「今頑張りなさい。そしたら、確実に未来は見えてくる。常に未来の事を考えて、今を一生懸命に頑張りなさい。」という２人の言葉が私の心に刺さり、勉強への意欲が湧きました。さらに一緒に講義を受けた周りのハイレベルさにも感化され、少しでもそのレベルに近づきたいと思いました。私の夢は警察官になることです。確実に地道に少しづつ学力を上げていきたいと思います。

2年　松元　萌

自分の将来の夢の分野を広げるためにも、どの大学でどのようなことを学べるかしっかり調べていきたいと思いました。私はこの研究会でとても衝撃を受けた講義があります。それは、根上生也先生（横浜国立大学大学院教授）の数学です。私は数学が好きで将来は数学の教師になりたいと思っています。そんな私にとって根上先生の「計算しない数学」「自由に考える離散数学」という講義はとても興味がでました。これから少しでも知っていきたいと思います。また他の先生方の研究内容も思いもつかないようなものばかりで、自分が興味を持っていることを自由に研究していることが少し羨ましく思いました。私も自分が学びたいことを自由に学べるところへ行きたいと思います。今回、垂水高校からは５人しか参加していません。だから、参加した私達が参加できなかった生徒へどのようなことを学んだのか伝えていきたいと思います。

2年　山田　周平

今回、将来の夢に対する考え方を学びました。私はただ英語が得意だから英語関係の仕事に就きたいという単純な理由に対して、他の高校生は、地元の文化を継承するために、こういった仕事に就きたいなど、具体的な理由を持っていました。将来の夢を具体的に持つ事によって自分の進むべき道を鮮明にしているのだと思いました。また講義では今回、広い視野を持つために、今まで興味を持っていなかった分野の講義を受け、教授ごとに将来の夢を叶える方法や自分が人生をかけて研究してきたことを知りました。その中で一番印象的に残ったのは古生物学の教授の言葉です。「古生物ではお金はそんなに稼げる訳じゃない。だけど、それがどうした。お金を稼げれば良いというのはただの価値観でしかない。」私は、そんな風に人生をかけてまで研究していることに大変感動しました。これから自分はまず自分の夢を具体的に決定しようと思います。

1年　大迫　彩乃

今回の研究会で一番印象に残っているのは医工学の荒井恒憲教授（慶応義塾大学理工学部物理情報工学科教授）が研究されている「低侵襲治療」です。これは、なるべく体を傷つけずに行う経内視鏡治療や経カテーテル治療のこと、教授は今レーザー治療器を開発しているそうです。一人でも多くの患者様を救うため、よりよい治療器開発の研究を行っています。私は、すごい熱意だと思いました。同じ研究を20年近く行っていることを知り、驚愕しました。自分の生きた年月以上をかけた努力は、想像ができませんでした。私は、医工学という学問に強く魅せられ、もっと深く学んでみたいと思いました。この研究会で専門的な内容を聞き、自分が勉強した分だけ道が開けると言いますが、その無数に枝分かれした多くの道を垣間見た気がしました。高校の授業はもちろん、他の事柄にも目を向け、広い視野を持つことが大切なのだと感じました。